

早期着工向け市民の会結成

5万人署名展開へ

【沖縄】沖縄市の東部
海浜開発泡瀬沖合埋め立

泡瀬埋め立て

て事業の早期着工を目指し、市民五万人の署名活動を計画している「美ら島(ちゅらじま)を創る市民の会」の結成総会が六日夜、沖縄市産業交流センターで開かれ、約百二十人の参加者は「署名を必ず成功させよう」と気勢を上げた。

同会は市議会東部開発を推進する議員連盟や、市内の主要三十四団体でつくる市東部海浜リゾート開発推進協議会で構成。会長に市物産振興会の比屋根清一会長を選出した。今後、署名活動の実施方法など協議し、九月中にも市民に事業の周知を図りながら活動を開始する。

比屋根会長は「五万人は今の態勢では天文学的数字。市民に説明し目標を達成するためにしっかりと理論武装しなければならぬ」と態勢の強化を訴えた。

市東部海浜リゾート開発推進協議会で構成。会長に市物産振興会の比

8万4千人が推進署名

美ら島創る市民の会が発表

「泡瀬埋め立て意義浸透」

ね、署名簿を提出、工事の早期着工を要請する。

比屋根会長は「短期間ではあったが、署名運動の意義を市民に浸透させることができた」と話した。同会は約二カ月間で、総決起大会を開催、

企業動員などによるローラー作戦を展開するなど、精力的に署名運動を実施。沖縄市外からも十二万八千人を集め、総数は二十二万二千九百人に達したという。

一方、「大事なことはみんなで決めよう住民投票市民の会(漆谷克秀代表)のメンバーは十四日午後、街頭署名活動を実施。推進派の署名数について、漆谷代表は「それほど集めたのなら、推進派も自信を持って市民投

【沖縄】中城湾泡瀬地区埋め立て推進の署名活動を展開した「美ら島を創る市民の会(比屋根清一会長)は十四日までの集計作業で、市民の約七割に当たる約八万四千人の署名を集めたことを確認した。同会代表らが十九日に上京し、内閣府に尾身幸次沖縄担当相を訪

票に賛成してほしい」と要望した。同会の署名運動は十九日に締め切り、市選挙管理委員会へ二十四日に署名簿を提出する。

沖縄相、着工を表明

泡瀬沖合埋め立て

県と沖縄市、需要予測報告

第1区から開始

【東京】尾身幸次沖縄担当相は八日午後、中城湾泡瀬沖合埋め立て事業について「今後とも環境に配慮しつつ、当面、第一区域（九十秒）の事業推進について合意した」と述べ、事業着工を正式に表明した。内閣府で比嘉茂政副知事と仲宗根正和沖縄市長の要請を受けた後、記者会見し、明らかにした。同事業は昨年八月に本格着工の予定だったが、藻場の保全など環境面の配慮から着工が見送られていた。自然保護団体などは泡瀬干潟の重要性を訴え、事業中止を求めているが、担当大臣の着工判断により、今月中に埋め立て地への連結道路など陸上部分の工事がスタートする。

(2、3面に関連)

が完成する四、五年後に二区の埋め立てを判断する考えを示し、全面着工に関して明言を避けた。一区の着工時期については「四月から七月にかけては「トカゲハゼの影響が降りになる」と説明した。

現計画で
実現可能

稲嶺知事が見解

稲嶺知事は八日午前の定例記者懇談会で、県と沖縄市が国に対し中城湾泡瀬地区埋め立て事業の推進を要請したことについて「沖縄市民の強い願いでもあり、一日も早くスタートしたい。（沖縄相に）お願いする」ということは、ぜひ前向きに進めたいということだ」と述べ、事業計画は十分実現が可能だとの考えを強調した。

副知事と沖縄市長は八日午後、中城湾泡瀬沖合埋め立て事業について「今後とも環境に配慮しつつ、当面、第一区域（九十秒）の事業推進について合意した」と述べ、事業着工を正式に表明した。内閣府で比嘉茂政副知事と仲宗根正和沖縄市長の要請を受けた後、記者会見し、明らかにした。同事業は昨年八月に本格着工の予定だったが、藻場の保全など環境面の配慮から着工が見送られていた。自然保護団体などは泡瀬干潟の重要性を訴え、事業中止を求めているが、担当大臣の着工判断により、今月中に埋め立て地への連結道路など陸上部分の工事がスタートする。

尾身沖縄相は「第一区 需要の見通しを十分検討 手することが適当だ」としては条件はクリアできた」と指摘。着工時期については「三月の着工を進める作業をしたい」との見通しを示した。

第2区着手は
4、5年後判断

県土木部長

中城湾泡瀬沖合埋め立て事業で県の屋比久尚土木建築部長は八日午前、記者会見し、県と沖縄市による土地需要見通しの確認作業結果を公表して「第一区域相当分を上回る需要が見込める」と報告した。一方で「第一区域から着手し、土地



尾身沖縄相（左）に泡瀬沖合埋め立て事業の早期着工を要請する比嘉副知事（中央）と仲宗根沖縄市長（右）内閣府